

2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議

国際博覧会は、地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集め、様々な創造活動を共に体験し、刺激を受け、考え、発見することで、課題解決方策を提言する場であり、その重要性はますます高まっている。

先般、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、大阪市・夢洲を会場とする国際博覧会の開催についての書簡をBIE（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われた。

国際博覧会を「関西」で開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう絶好の機会となり、関西全域に新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、関西の知名度向上にも大きく貢献するものと考えられる。また、関西広域連合が提唱する国土の双眼構造の構築及び目指すべき関西の将来像の実現にも大きく寄与するものである。

徳島県は、関西の広域課題に対応する関西広域連合に設立当初から構成団体として参加しており、関西におけるこうした取組は、本県の観光誘客や産業振興等の地域振興に大きな効果が期待できる。

よって、徳島県議会としては、国際博覧会開催の意義に賛同し、国際博覧会の大阪・関西への誘致実現に向け、関係機関とともに積極的に取り組むものである。

以上、決議する。

平成29年10月6日

徳 島 県 議 会